



# 両津小だより

両津小学校

R6.5.1  
NO. 2

新潟県佐渡市両津湊 200-1 電話 0259-27-3642  
ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール [ryoutsu-es@sado.ed.jp](mailto:ryoutsu-es@sado.ed.jp)

## 気持ちのよいあいさつのできる両津っ子

校長 後藤 修治

風薫る5月。さわやかな時季となりました。学校では、令和6年度がスタートしてあっという間に1か月がたちました。子どもたちは、新しい学年、新しい環境にも慣れ、落ち着いて学校生活を送っています。5月は、18日(土)に1学期の大きな行事でもある運動会が開催されます。先日、応援団が結成され、朝活動や昼休みの時間には、応援練習も始まりました。赤白それぞれ、応援歌の練習など校舎内は元気な声が響き渡っています。運動会には、ぜひ多くの保護者やご家族の皆様からお越しいただき、子どもたちの応援や競技でのがんばる姿をご覧いただければと思います。

さて、4月の始業式で、子どもたちに「オアシス」の心を大切にしていましようという話をしました。特にその中でも、朝のあいさつをがんばってほしいと伝えました。この1か月、校門で子どもたちと毎日あいさつを交して、両津小の子どもたちのあいさつのすばらしさを感じることができました。それは、どんなところか・・・。

一つ目は、あいさつの声です。元気のある明るい声であいさつをしてくれます。私は、その声に毎日元気もらっています。10日、20日、30日の「オアシスの日」には、総務委員会の子どもたちも校門であいさつ運動をしてくれます。そうすると、いつもよりもさらにあいさつの声が大きくなります。

二つ目は、目を見てあいさつをしてくれることです。目が合うと、心と心のつながりを感じうれしくなります。

三つ目は、会釈(軽くお辞儀)をしてくれることです。お辞儀は、あいさつの時などに行う日本独特の動作であり文化です。会釈されると、とてもさわやかな気持ちになります。

このように、両津小学校のあいさつはすばらしいのです。これまで大切に引き継がれてきたものであり、これからも引き継いでほしいと思います。「オアシス」の心を大切に、これからも気持ちのよいあいさつのできる両津っ子を目指していきます。